

事業番号	15 03 01	事業改善シート (31年度実施事業分)	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input checked="" type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input type="checkbox"/> 点検
事業名	高等学校学びの支援事業費	部局	教育委員会事務局	課・室	高校教育課	
		実施期間	S27 ~	E-mail	koko@pref.nagano.lg.jp	
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)						
総合的に展開する重点政策	1-1 生きる力と創造力を育む教育の推進		2-6 郷学郷就の産業人材育成・確保			
	1-2 地域とともに取り組む楽しい学校づくり					

1 事業の概要

現状 (予算編成時)	<ul style="list-style-type: none"> ・国内外の大きな社会変動による先行きの不透明な時代を生き抜くためには、自ら問題を発見し、答えを生み出し、新たな価値を創造していくための資質・能力が必要であるとの背景のもと、学習指導要領改訂、高大接続改革により、高等学校教育の転換が求められている。また、全国的に少子化が進行しており、長野県においても同様の傾向が見られ、今後も長期的に子供の減少は続く見通しである。 ・帰国子女や外国籍、障がい等により授業や日常生活に支障のある要支援生徒に対しては、専門性の高い知識を有した外部人材等による適切な支援が必要とされている。 	31年度 予算額	2,253,555 千円
		職員数	16.74 人

目指す姿	<ul style="list-style-type: none"> ・長野県の高校教育として多様な学びの場と学びの仕組みを用意し、すべての高校が、これからの時代に必要とされる新たな学びに転換することによって、すべての生徒が自らの夢を見つけ、夢に挑戦する学びの実現を目指す。また、新たな学びを支える環境づくりを推進し、各校の規模や特色を生かして、活力の維持と学びの質の向上を図る。 ・要支援生徒が在籍する高等学校において、校内相談、支援体制を構築・拡充し、授業や日常生活へのより速やかな適応を図る。 <p>(主な実施内容:高校改革 ~夢に挑戦する学び~ の推進、施設・設備等整備、特色学科の設置運営、要支援生徒の学びの支援など)</p>
------	--

事業 コスト	区分(単位:千円)						指標及びその達成状況					
	29年度	30年度	31要求	31予算案	No	成果指標	29年度末	30年度末 (見込)	31年度			
	前年度繰越	当初予算	補正予算	合計(A)					目標値	成果	達成状況	
予算額	64,153	0										
	2,452,957	986,165	3,469,772	2,253,555	①	日本語支援生徒のアンケート満足度「助かっている。」回答率	100%	90%	90%			
	-150,044	81,284			②	県立高校空調設備整備校数	0	0	25校			
	2,367,066	1,067,449	3,469,772	2,253,555	③	県立高校トイレ洋式化率	26.6%	32.0%	41.9%			
Aの 財源	694,432	652,309	1,070,994	792,777	④	申請者への定時制課程及び通信制課程教科書購入補助	100%	100%	100%			
	1,635,000	385,000	2,392,000	1,454,000								
	37,629	30,137	6,574	6,574								
	5	3	204	204								
決算額(B)	2,267,647											
概算 人員 費	職員数(人)	16.00	15.00	16.74	16.74							
	概算人員費(C)	129,632	121,530	135,627	135,627							
概算 事業費 (B(A)+C)		2,397,279	1,188,979	3,605,399	2,389,182							

成果指標 設定理由	<ul style="list-style-type: none"> ・①各校の現状と要望を把握しながら支援員の配置を行い、各校に在籍する日本語が不自由な外国籍生徒及び帰国生徒が安心して高校生活を送ることができるように、コミュニケーション力の向上や基礎学力の定着・生活相談などを支援する必要があるため、対象生徒の満足度を設定。 ・②空調設備の設置等を行うことにより、教育環境の向上を図る必要があるため、整備校数を設定。 ・③生徒が快適に学校生活を過ごすことができるようにするためトイレ洋式化率を設定。 ・④定時制及び通信制で学ぶ生徒に対して、適切な学習環境を提供するため、教科書補助等による修学支援を行う必要があるため、申請者への支給実績率を設定。
--------------	--

指摘事項等への対応	指摘事項・意見	対応
<input type="checkbox"/> 監査 <input type="checkbox"/> 決算特別委員会 <input type="checkbox"/> 県民協働による事業改善	該当なし	

予算要求からの主な変更点	(県立高校学習環境改善事業)過去の執行状況を考慮し、工事費を減額 (県立高校空調設備緊急整備事業)整備時期を考慮し、工事費を債務負担とし設計費のみを予算計上 (特色ある学科設置事業費)事業内容を精査し、県立高校「未来の学校」研究校を必要最低限とすることにより、アドバイザーの報償費、旅費等を減額 (初度調弁費)過去の執行状況を考慮し、調度品の購入経費を減額 (高等学校施設整備事業費)事業の緊急度等を考慮し、工事費等を減額
--------------	---

2 事業を構成する細事業の内容

(単位:千円)

No	細事業名	31年度 実施内容(予定)	職員数 (人)	30年度 (当初)	31年度	
					(要求)	(予算案)
1	日本語が不自由な生徒のための高校生活支援事業費	帰国子女及び外国籍生徒等の生活を支援するため、関係校に支援員を配置(延べ930時間)	0.04	3,095	3,106	3,106
2	県立高校学習環境改善事業	生徒が快適に学校生活を過ごすことができるようトイレ設備390基を洋式化	0.50	25,500	198,900	179,000
3	県立高校空調設備緊急整備事業	夏期の高温化の中で、生徒の生命・安全を守るため、25校に空調設備を整備	2.50	0	2,304,159	1,219,749
4	定時制課程運営費	消耗品の購入及び設備整備 2校、教科書購入費補助16校	0.64	14,456	14,136	14,136

No	細事業名	31年度 実施内容(予定)	職員数 (人)	30年度 (当初)	31年度	
					(要求)	(予算案)
5	通信教育運営費	通信制生徒子弟等託児所保育士の配置 2校分、4名分 教科書購入費補助2校	0.12	1,583	1,515	1,515
6	高等学校理科教育設備・産業教育設備 整備事業費	理科教育設備整備、老朽設備の更新3品目(3校) 産業教育設備修繕、老朽設備の更新4品目(4校)、電子計算組織 等のリース・運営・維持	1.00	270,407	270,649	270,649
7	特色ある学科設置事業費	特色学科の設置・運営、県立高校「未来の学校」実践校の指定	8.44	131,801	143,056	136,433
8	初度調弁整備事業費	改築により施設整備を行う学校の初度調弁整備 2校	1.00	911	7,554	6,191
9	高等学校施設整備事業費	老朽校舎改築 5校	2.50	287,957	526,697	422,776
10	高等学校再編施設整備事業費	平成30年度において事業終了	0.00	204,612	0	0
11	地方創生のモデルとなる新しい高校づく り推進事業費	平成30年度において事業終了	0.00	6,987	0	0
12	学びと働きを連携させた信州創生のた めの新たな人材育成モデル事業費	平成30年度において事業終了	0.00	38,856	0	0
合計			16.74	986,165	3,469,772	2,253,555